



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 株式会社スペース 上場取引所 東
 コード番号 9622 URL <https://www.space-tokyo.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）佐々木 靖浩
 問合せ先責任者（役職名）取締役 常務執行役員経営管理本部長（氏名）松尾 信幸（TEL）03（3669）4008
 半期報告書提出予定日 2024年8月7日 配当支払開始予定日 2024年9月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	31,121	19.8	2,173	111.9	2,198	110.2	1,461	177.9
2023年12月期中間期	25,968	18.7	1,025	8.7	1,045	9.0	526	△13.8

（注）包括利益 2024年12月期中間期 1,596百万円（126.6%） 2023年12月期中間期 704百万円（17.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	59.67	—
2023年12月期中間期	21.46	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	40,362	31,823	78.7
2023年12月期	37,625	30,753	81.6

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 31,764百万円 2023年12月期 30,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2024年12月期	—	20.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	25.00	45.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

（注2）2023年12月期期末配当金の内訳 記念配当 4円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,400	4.9	3,280	27.4	3,300	26.1	2,180	29.4	88.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	26,600,319株	2023年12月期	26,600,319株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	2,095,478株	2023年12月期	2,100,773株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	24,498,336株	2023年12月期中間期	24,512,055株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P.5「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)における当社グループ(当社及び当社の関係会社)を取り巻く事業環境は、資材価格の高騰や人件費の増加等によるコスト上昇など、先行きが不透明な状況が続いております。

一方で、企業収益の改善を背景に設備投資は持ち直し傾向で推移し、企業の投資意欲は底堅い状況が続いております。

当社の主要顧客である小売業界におきましては、経済活動の正常化が進む中、人流・インバウンド需要の増加に伴い、新装・改装需要は堅調に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループにおいては、中期経営計画「進化発展」に基づき、営業利益率5%、売上高成長率5%、全社員活躍の実現、顧客提供価値の向上を目標に掲げ、「自ら考え、行動し、成果にこだわる」「オールスペースが持つ可能性を追求する」「一人ひとりが経営者意識を持って行動する」という三つの方針の下、企業価値向上に向けて事業活動を進めてまいりました。具体的には、大型案件、顧客基盤であるナショナルチェーン店及びサービス等分野の注力に加え、地域活性化案件の強化等といった現中計で掲げる各種戦略に取り組んでまいりました。このほか、生産性・提供価値の向上を目的として、採用や教育研修等の人的資本への積極投資、ITを活用した業務効率化の推進等に努めてまいりました。

以上の結果、売上高、段階利益ともに前年同期を大きく上回りました。

(売上高)

活況な受注環境を背景に、オフィス関連、エンターテインメント施設等のサービス等分野における大型案件や食品スーパー・コンビニエンスストア分野の新装・改装案件が増加したことで、売上高は311億21百万円(前中間連結会計期間比19.8%増)となりました。

(営業利益)

売上高の増加や大型案件の収益性の向上による売上総利益率の上昇に加え、前年同期に特定の大型案件において貸倒引当金を計上した反動もあり、営業利益は21億73百万円(前中間連結会計期間比111.9%増)となりました。

(経常利益)

営業外収益に受取配当金等、営業外費用に支払利息等を計上した結果、経常利益は21億98百万円(前中間連結会計期間比110.2%増)となりました。

(親会社株主に帰属する中間純利益)

税金等調整前中間純利益に法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は14億61百万円(前中間連結会計期間比177.9%増)となりました。

なお、当社グループはディスプレイ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載に代えて、市場分野別に記載しております。

市場分野別の売上高は次の通りであります。

区分	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月1日 至 2023年 6月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年 1月1日 至 2024年 6月30日)		増減	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	増減率 (%)
複合商業施設 ・総合スーパー	7,797	30.0	6,635	21.3	△1,161	△14.9
食品スーパー ・コンビニエンスストア	2,685	10.3	3,959	12.7	1,274	47.4
各種専門店	7,951	30.6	8,528	27.4	576	7.2
飲食店	2,823	10.9	3,523	11.3	699	24.8
サービス等	4,709	18.2	8,475	27.3	3,765	80.0
合計	25,968	100.0	31,121	100.0	5,153	19.8

- ・複合商業施設・総合スーパー分野は、総合スーパーの改装案件が増加した一方、前年同期に複合商業施設の大型案件を複数手掛けた反動により前年同期を下回る売上高となりました。
- ・食品スーパー・コンビニエンスストア分野は、コンビニエンスストアにおける改装案件及び企業・施設内のサテライト出店が増加したことに加え、食品スーパーにおける新装案件及び売場刷新を目的とした改装案件が増加したことから、前年同期を上回る売上高となりました。
- ・各種専門店分野は、服飾雑貨店舗における店舗展開の推進を目的とした新装案件や既存店強化に伴う改装案件が増加したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。
- ・飲食店分野は、店舗網拡大を目的とした新装案件や業態転換による改装案件が増加したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。
- ・サービス等分野は、オフィス関連及びエンターテインメント施設の大型案件を多数手掛けたことにより、前年同期を大きく上回る売上高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は、403億62百万円(前連結会計年度末比27億36百万円増)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ26億88百万円増加し、274億6百万円となりました。主な要因は、受取手形が56百万円減少したものの、完成工事未収入金及び契約資産が14億96百万円、未成工事支出金が7億90百万円、現金及び預金が4億28百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、129億55百万円となりました。主な要因は、無形固定資産が79百万円、有形固定資産が24百万円減少したものの、投資その他の資産が1億52百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、85億39百万円(前連結会計年度末比16億66百万円増)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16億16百万円増加し、77億55百万円となりました。主な要因は、工事未払金が9億74百万円、その他に含まれる未成工事受入金が3億51百万円、その他に含まれる未払費用が1億24百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、7億83百万円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が42百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、318億23百万円(前連結会計年度末比10億70百万円増)となりました。主な要因は、利益剰余金が9億22百万円、その他有価証券評価差額金が1億24百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ4億12百万円増加(前中間連結会計期間は10億30百万円の減少)し、121億83百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億24百万円の収入(前中間連結会計期間は14億37百万円の収入)となりました。主な収入要因は、税金等調整前中間純利益を21億99百万円計上したこと、及び仕入債務が9億71百万円増加したことによるものです。主な支出要因は、売上債権及び契約資産が14億29百万円増加したこと、及び棚卸資産が7億89百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億14百万円の支出(前中間連結会計期間は20億40百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得により1億6百万円を支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億36百万円の支出(前中間連結会計期間は4億40百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払が5億36百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績及び足元の状況を踏まえ、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期通期業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたします。

当中間連結会計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」(2ページ)に記載の通り、経済活動の正常化が進む中、大型案件をはじめとする新装・改装工事の受注が堅調に推移いたしました。

これにより、当中間連結会計期間の売上高、利益のいずれにおいても期初予想を上回り、また引き続き好調に推移していくものと見込んでいることから、2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期通期業績予想を上方修正いたします。

また、通期業績予想の上方修正に合わせて、2024年12月期の期末配当予想額を期初予想の1株当たり20円から5円増配し、1株当たり25円に修正いたします。

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,900	2,650	2,660	1,760	71.81
今回修正予想(B)	55,400	3,280	3,300	2,180	88.98
増減額(B-A)	2,500	630	640	420	
増減率(%)	4.7	23.8	24.1	23.9	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	52,793	2,574	2,616	1,685	68.76

2024年12月期通期個別業績予想数値の修正(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,700	2,610	1,730	70.58
今回修正予想(B)	54,100	3,250	2,150	87.76
増減額(B-A)	2,400	640	420	
増減率(%)	4.6	24.5	24.3	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	51,645	2,550	1,655	67.55

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,145,097	13,573,863
受取手形	671,917	615,432
完成工事未収入金及び契約資産	10,182,228	11,678,453
未成工事支出金	896,710	1,687,588
材料及び貯蔵品	11,026	9,843
その他	244,296	293,530
貸倒引当金	△433,104	△451,745
流動資産合計	24,718,172	27,406,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,750,830	2,787,504
土地	6,746,128	6,746,128
その他 (純額)	324,764	263,239
有形固定資産合計	9,821,723	9,796,871
無形固定資産		
その他	309,916	230,182
無形固定資産合計	309,916	230,182
投資その他の資産		
その他	2,778,099	2,930,915
貸倒引当金	△2,112	△2,336
投資その他の資産合計	2,775,986	2,928,579
固定資産合計	12,907,626	12,955,633
資産合計	37,625,798	40,362,600
負債の部		
流動負債		
工事未払金	3,192,072	4,166,073
未払法人税等	804,549	757,962
賞与引当金	109,517	124,638
役員賞与引当金	5,620	-
完成工事補償引当金	34,732	32,972
その他	1,992,248	2,673,914
流動負債合計	6,138,741	7,755,561
固定負債		
長期借入金	60,000	60,000
退職給付に係る負債	257,485	257,573
長期未払金	316,077	316,077
その他	100,173	149,919
固定負債合計	733,736	783,570
負債合計	6,872,478	8,539,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,537	3,395,537
資本剰余金	3,610,221	3,614,842
利益剰余金	24,740,276	25,663,201
自己株式	△1,452,856	△1,444,453
株主資本合計	30,293,179	31,229,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251,835	375,957
為替換算調整勘定	75,998	118,818
退職給付に係る調整累計額	81,593	40,796
その他の包括利益累計額合計	409,427	535,572
非支配株主持分	50,713	58,767
純資産合計	30,753,320	31,823,468
負債純資産合計	37,625,798	40,362,600

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高		
完成工事高	25,968,114	31,121,647
売上原価		
完成工事原価	23,000,483	27,209,169
売上総利益	2,967,630	3,912,477
販売費及び一般管理費	1,941,725	1,738,786
営業利益	1,025,904	2,173,691
営業外収益		
受取利息	3,852	6,789
受取配当金	10,752	9,839
為替差益	6,642	3,719
その他	6,326	9,938
営業外収益合計	27,573	30,285
営業外費用		
支払利息	2,503	2,581
支払手数料	1,257	961
その他	4,154	2,400
営業外費用合計	7,915	5,943
経常利益	1,045,563	2,198,033
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,266
特別利益合計	-	1,266
税金等調整前中間純利益	1,045,563	2,199,300
法人税、住民税及び事業税	521,425	687,770
法人税等調整額	△16,893	41,561
法人税等合計	504,531	729,331
中間純利益	541,031	1,469,969
非支配株主に帰属する中間純利益	14,924	8,053
親会社株主に帰属する中間純利益	526,107	1,461,915

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	541,031	1,469,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,576	124,121
為替換算調整勘定	20,916	42,819
退職給付に係る調整額	86,740	△40,796
その他の包括利益合計	163,233	126,144
中間包括利益	704,264	1,596,113
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	689,340	1,588,059
非支配株主に係る中間包括利益	14,924	8,053

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,045,563	2,199,300
減価償却費	189,878	225,024
株式報酬費用	37,573	19,972
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	436,314	18,137
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,226	9,465
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	59,467	△1,051
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	30,815	△72,263
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△6,660	-
受取利息及び受取配当金	△14,604	△16,628
支払利息	2,503	2,581
受取保険金	-	△2,517
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△1,266
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	286,090	△1,429,940
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△397,899	△789,422
仕入債務の増減額 (△は減少)	436,057	971,045
その他	△191,464	615,053
小計	1,908,409	1,747,492
利息及び配当金の受取額	7,669	11,187
利息の支払額	△2,503	△2,581
保険金の受取額	-	2,517
法人税等の支払額	△476,191	△734,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,437,383	1,024,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,023,789	△106,263
投資有価証券の取得による支出	△3,373	△3,328
投資有価証券の売却による収入	-	1,650
無形固定資産の取得による支出	△11,284	△7,290
長期性預金の預入による支出	△1,000,000	-
その他	△2,056	332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,040,503	△114,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△564	△226
配当金の支払額	△439,624	△536,532
自己株式の純増減額 (△は増加)	△94	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440,283	△536,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,825	39,523
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,030,578	412,011
現金及び現金同等物の期首残高	13,681,185	11,771,010
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,650,607	12,183,022

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ディスプレイ事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下の通りであります。

前中間連結会計期間(自 2023年 1月1日 至 2023年 6月30日)

制作品別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
内装・外装工事	9,604,349	13,970,442	23,574,792
イベント・展示工事	—	26,091	26,091
建築工事	262,031	74,901	336,932
メンテナンス工事	10,664	548,217	558,882
コンサルティング・企画・設計・内装監理	1,095,613	233,169	1,328,783
その他	18,988	123,643	142,631
合計	10,991,648	14,976,466	25,968,114

市場分野別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
複合商業施設・総合スーパー	4,619,986	3,177,504	7,797,491
食品スーパー・コンビニエンスストア	167,170	2,518,118	2,685,288
各種専門店	2,822,915	5,128,992	7,951,908
飲食店	1,042,580	1,781,271	2,823,852
サービス等	2,338,995	2,370,578	4,709,573
合計	10,991,648	14,976,466	25,968,114

(注) 期間がごく短い工事や案件については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、履行義務を充足した時点で収益を認識しており、一時点で移転される財として集計しております。

当中間連結会計期間(自 2024年 1月1日 至 2024年 6月30日)

制作品別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
内装・外装工事	12,078,247	16,381,005	28,459,252
イベント・展示工事	6,015	69,358	75,374
建築工事	199,742	199,600	399,343
メンテナンス工事	28,677	639,610	668,287
コンサルティング・企画・設計・内装監理	1,002,769	336,278	1,339,048
その他	13,368	166,972	180,341
合計	13,328,822	17,792,825	31,121,647

市場分野別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
複合商業施設・総合スーパー	3,550,605	3,085,039	6,635,645
食品スーパー・コンビニエンスストア	544,437	3,414,922	3,959,359
各種専門店	3,130,977	5,397,286	8,528,264
飲食店	1,241,329	2,281,733	3,523,063
サービス等	4,861,472	3,613,843	8,475,315
合計	13,328,822	17,792,825	31,121,647

(注) 期間がごく短い工事や案件については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、履行義務を充足した時点で収益を認識しており、一時点で移転される財として集計しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。